

IGL (Interactive Graphic Library)

【説明】 IGLは、高度な会話型図形処理機能を有するグラフィック・ライブラリである。IGLでは、端末画面上（TEKTRONIX4114）に表示されるクロスヘア（十字線）を用いて図形の作画を行うことができる。またキーボードから、文字、整数、実数データを直接プログラムの中に入力したり、画面上のクロスヘアによって座標データをプログラムに引渡すことができる。さらに、図形の移動、回転、字体の選択、補間などを始めとするグラフィック・サポート・ルーチンも豊富で簡便に利用できる。IGLでは、各々の図形や文字列をセグメント（番号を持つ単位の図）として扱えるため、セグメントの重ね合わせによる図形の作成や図形の部分的な移動、消去、再表示を非常に迅速に行うことができる。これらの機能を用いることにより、アニメーション表示をすることも可能である。IGLで作成した図は、端末装置に接続しているハードコピー装置またはNLPに出力することができる。IGLの特徴として、使用できる字体が豊富であることが挙げられる。

0	ABCDEabcde	8	ABCDEabcde
1	ABCDEabcde	9	ABCDEabcde
2	ABCDEabcde	10	ABCDEFghijkl
3	ABCDEFghijkl	11	ABCDEABEΔE
4	ABCDEabcde	12	ABΨΔEαβψδε
5	ABCDEabcde	13	ABΨΔEαβψδε
6	ABCDEFghijkl	14	♀♀♂♂♀♀♂♂
7	ABCDEabcde	15	^~^~^~^~^~^~^

図1 IGLで使用できる字体

【使用例】 IGLを用いて作画した一例を図に示す。複雑な図形となっているが、これは左下にある四角と円の2つのセグメントを移動、拡大して描いたものである。

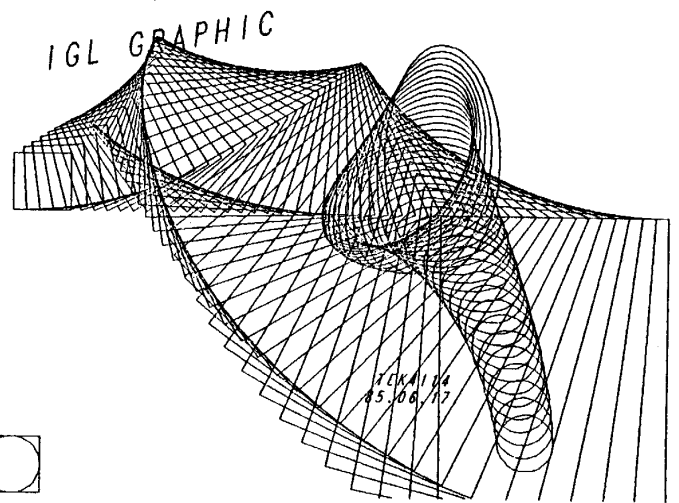


図2 IGLで作画した図形の例

【参考手引き】

- 1) センター利用の手引き「高速再表示型グラフィック・ディスプレイによる会話型図形処理— IGL紹介—」
- 2) PLOT10 IGL オプション2 A プライマリ・コマンド・セット, TEKTRONIX
- 3) PLOT10 IGL オプション4 A グラフィック・セグメント・サポート, TEKTRONIX

【紹介 T. M.】